

Rotary opens opportunities



ロータリーは
機会の扉を開く

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける



国際ロータリー第 2770 地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイバックスタワー東館 1 階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011 E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <http://www.ri2770.com>

ご挨拶



2020-21年度 第2770地区
ガバナー 中里 公造

地区内のロータリアンの皆さん、いかがお過ごしですか?2020-21年度、2770地区第33代のガバナーを務めさせていただきます、川口モーニングロータリークラブの中里公造でございます。

新年度のスタートを、皆さんのクラブではどのような形で迎えられたでしょうか。例会は開かれていますか?開かれているとしたらどのような形態でしょうか。通常の例会ですか?オンラインでの例会ですか?そして、このガバナー月信第1号を手にした会員の数は、昨年度と比べてどうでしょうか?

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日々情勢が変化しています。この原稿を5月に執筆しながら、7月1日が果してどのような状況になっているのか、様々な情景が脳裏をよぎっています。

ロータリーが設立された1905年から現在に至るまで、ロータリーはその時代時代における社会情勢や環境の変化に柔軟に対応してきました。二つの世界大戦や世界恐慌、最近ではリーマンショックや東日本大震災等々幾多の困難に直面した時も、その都度、先達ロータリアンの皆様のご尽力により克服してきたからこそ現在のロータリーがあります。この度の新型コロナウイルスに対し、世界中でその終息に向け様々な対策が講じられていますが、ロータリーとして世界中のクラブで、いち早く支援活動が行われています。

2770地区では2か月前の昨年度5月に、小林ガバナーのご尽力と、関係各位のご協力により、埼玉県に多額の寄付金(支援金)とともに大量のフェースシールドを贈呈いたしました。同時に地区として用意した大量のマスクも、クラブやグループ等を通じて支援活動に使われました。地域社会が必要としているニーズに合った、ロータリーらしい素晴らしい支援活動でした。また、例会が開催できない状況にありながらも、独自の対コロナ支援活動をされたクラブ・グループもございました。

今年度の公式訪問は9月よりスタートしますが、例年通り皆さんと直に顔を合わせる公式訪問を楽しみにしています。但し状況によりオンラインでの方式になるかも知れません。また、今後オンラインでの会合が増えることは間違いありません。使ってみればとても便利なものです。例会に限らず、理事会や各委員会、さらには地区の会合やセミナー等にも利用可能ですし、活用次第ではとても便利なツールになります。是非多くの皆さんにご活用いただきたいと思います。

今回のコロナウイルスの影響で、例会の開催も会員同士合うこともままならない状況にありながらも、昨年度のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」のように、友情の絆はしっかり繋がっており決して途切れることはありません。ロータリーどころではないという会員の声も承知しています。

今こそロータリーの奉仕理念「The Ideal of Service」(他人を思いやり他人のために尽くす)をロータリアン同士の思いやりにも拡大し、ともに心をつなぎ、日本にロータリーが誕生して100周年という節目の年度が有意義な年度になるよう頑張りましょう。

私たちロータリアンは「世界を変える行動人」です。

新たな機会へのチャレンジで、多くの機会の扉を開きましょう。

2020-21年度RIテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21年度地区運営方針

「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」

ご挨拶



第2770地区
直前ガバナー 小林 操

皆さんこんにちは。2020-2021年中里公造年度開始にあたりお祝いとお慶び申し上げます。

愈々、日本のロータリー100年の年になりました。そして、今年度、ホルガー・クナークRI会長は、「ロータリーは機会の扉を開く(Rotary Opens Opportunities)」とし、また、中里公造ガバナーは「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」を地区方針のもとスタートしました。社会では新しい生活様式という扉が開かれました。

普通なら100周年を迎えれば、各種イベントを開催し賑々しく準備をすると思いますが、いみじくも100年の年から新しい環境で出発しなければなりません。2020-21年度国際協議会では、すでに忍び寄っていたかも知れません。想いも寄らぬCOVID-19の流行は、ボルガー・クラークRI会長の想いをいわば世界同時に実践するという扉を開け進んだ感があります。インスピレーションを持ち、つながりという土台に立ったロータリーは必ずこの新しい環境に順応しさらに発展することは間違えないでしょう。

ただその道のりは容易いものではなく、着実に一つずつ進まなければ、栄枯盛衰と諦め感に負けてしまうでしょう。いま日本を、世界を支えるのはIT世代です。日本ではいま90%以上の人々が何らかの携帯或いはスマートホンを持っています。個人のパソコン普及率は約70%、AI生活が叫ばれている今日、社会で活躍する殆どの人々がスマートホン或いはパソコンを利用するのは当たり前の社会です。そろばんから、電卓へ、電卓からパソコンへ、情報もまた、新聞、TVからインターネットへ、今回のコロナショックは「新しい生活様式」に移行しなければコロナをお克服できないわけで、ロータリーもこのコロナを切っ掛けに新しいコミュニケーションを広めなければなりません。

また今の日本はパソコンの普及にも関わらずプリンターによる紙の使用が多いという話があります。私もスケジュールは手帳、電話帳は携帯といつも2つを持って歩いています。よく考えると携帯にもカレンダーがあり、またメモ帳もアプリとしてあり、手帳は要らないことが分かりますが、親しみとか覚えやすさとか、未練か、なかなか手放す決断ができません。直前年度、ポリオ根絶活動で、またコロナ対応で、動画の撮影を経験しました。ご存知のとおり口下手な当方としては原稿を読むとしても口が回らず何回もカットを繰り返し、迷惑を掛けましたが、オンライン会合を含めかなりできるようになったと自負しています。

リーダーシップを持つことが求められるロータリアンは、やるしかないわけで、まずオンラインコミュニケーションをマスターし、日常のことにしなければなりません。それが今年度最初に扉を開けることだと思います。

これからの100年に向けて、新しいロータリーを見出すことをご期待申し上げます。

ご挨拶



2020-21年度 第2770地区
地区研修リーダー 井原 實

2770地区のロータリアンの皆様、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大防止に努めながら、何とか無事に2020-21年度の最初の月である7月を迎えられたことをお慶び申し上げます。

2020年1月、2月とCOVID-19が、初めはクルーズ船、屋形船などの狭く、換気が悪く、多くの人々が集まっている中から広がり始めました。3月になると海外に居る邦人(駐在者、留学生、旅行者)の帰国が始まり、小中学校の休校も始まりました。4月には非常事態宣言が出され人との接触を減らし、在宅が推奨されました。このような中で、2月の地区チーム研修セミナーは拡散防止策を講じながら集合して実施しました。しかし、3月のPETS、4月の地区研修・協議会はDVDの映像とテキストによる自習形式で実施されました。RIはホノルルで6月に予定されていた国際大会を中止し、4月の理事会では2020年末までの研修会、会議などはオンラインで開催することを強く推奨しました。

このような慌ただしい動きの中で、前年度の地区委員会、現年度の地区委員会は、リアルからオンラインでの委員会活動を余儀なくされました。各クラブにおかれても3月以降は例会を休会にしたクラブが多かったようです。一部のクラブでは、新型コロナウイルスが在る中での新生活様式を模索しながらオンライン例会にチャレンジして下さいました。

残念ながら、20-21年度は、青少年交換の中止、財団奨学生募集の中止を決めざるを得ませんでした。

7月からは、COVID-19の拡散防止を意識した新生活様式を取り入れながら、オンライン中心の会議やプロジェクトの進め方を学び、開発しながらロータリーの事業を推進して行く、ある意味では、試行錯誤で事業を推進する年が始まります。115年の歴史の中でロータリーが初めて体験する年度になります。

しかし、恐れる事は有りません。私達ロータリアンは「世界を変える行動人」です。私達がチャレンジし、失敗しながらでも前に進む姿を地域の人々に見せて、地域の人々をリードしながら奉仕を実践して行く、実りの多い年度になることを願っています。

中里ガバナーの下、皆で、新たな活動方法を発掘し、奉仕を進めて行くことを願っております。皆様の力を結集して素晴らし年度として行きましょう。

お疲れ様でした そして よろしくお願ひします

2019-20 年度ガバナー

小林 操

2020-21 年度ガバナー

中里 公造



2019-20 年度地区幹事

宮崎 敏博

2020-21 年度地区幹事

木戸 良樹

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第1グループ

高橋 宜治
(浦和ダイヤモンドRC)

2020～2021年度第1グループ、ガバナー補佐を拝命しました浦和ダイヤモンドロータリークラブの高橋宜治です。

国際ロータリーのホルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」(Rotary Opens Opportunities)をRIテーマとして掲げられ、また、中里ガバナーは、地区運営方針を「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」とされました。

現在、私達はこれまでに経験したことがない困難な環境下にあります。

しかし、これを「機会」と捉えて、様々な事にチャレンジしていくことが求められているのだと思います。

例えば例会もネット上で開催するとか、会員同士SNSで連絡を取り合うとか、各クラブで新たなチャレンジを試みなければならない状況です。

私の使命は、このようなチャレンジのサポートを通してガバナーの意向を各クラブに伝え、効果的なクラブとなっていくことだと思います。

第1グループの各クラブの結束の下、苦しかったけれど、素晴らしい1年だったと振り返ることができるように様々な面でサポートして行きたいと思いますので、よろしくお願いします。



第2グループ

池畑 秀夫
(さいたまシティRC)

皆さんこんにちは、この度第2グループガバナー補佐を務めさせていただきますさいたまシティRC所属の池畑です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

本年度は新型コロナウイルスの影響でPETUや地区研修協議会が中止になり通常のロータリー活動ができない中での新年度スタートになりました。

ガバナー補佐の役割とは中里ガバナーの地区方針を各クラブに正確に伝達して会員の皆さんに理解してもらうことです。

私が担当する第2グループ各クラブの効果的な運営をサポートする事はもちろん、地区の活動をより詳しく伝えるために概ね2カ月に1度担当のクラブを訪問させて頂く予定です。またガバナー補佐は退会防止と会員維持を主に会員増強維持部門委員として所属グループを担当する事にもなりました。

このご時世、会員増強はかなり難しくなると思われます。よって退会防止・会員維持について各クラブの会長・幹事さんと連携をとっていきたいと考えています。

先が見えない未曾有の経済危機の中で通常のロータリー活動は出来ませんがコロナウイルスに負けず1年間頑張っていくしかないと思います。

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第3グループ

ガバナー補佐
飯野 耕司
(大宮RC)

2020-21年度国際ロータリー第2770地区第3グループガバナー補佐を拝命致しました、大宮ロータリークラブの飯野耕司と申します。

本年度、ホルガー・クナークRI会長テーマであります「ロータリーは機会の扉を開く」をもとに、「無限の機会への招待」であると認識し、私達も、また助けを必要としている人たちも同じように無限の機会を与えられているし、また奉仕活動により、与えていきましょう。

中里公造ガバナーは、機会の扉は、無限に存在するし、よりインパクトのある機会の扉を開きましょうと地区活動方針を示され、運営方針としては「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」とされました。

6クラブの皆様、自分たちの長期ビジョン(ありたい姿)がないクラブは策定して頂き、あるクラブは例会場にかかげ会員維持と増強を計り、またRI、地区、クラブの目標達成に向けて活動して参りましょう。

皆様のお役に立てればと思っていますので、どうぞ1年間宜しく願い申し上げます。



第4グループ

ガバナー補佐
小暮 昭弘
(大宮北東RC)

いよいよ中里年度のスタートとなりますが、新型コロナウイルス「COVID-19」の発生に伴い様々な活動の自粛などロータリー活動にも大きな支障が出ていることと思います。

各クラブにおかれましても計画の変更や活動の延期や中止を余儀なくされていることと思われます。

従来からのクラブでの奉仕活動も大切ですが、今年度の地区運営方針は「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」です。この方針を各クラブなりに考えこの状況をポジティブにとらえ新たな戦略計画にチャレンジしてはいかがでしょうか。

今年度のガバナー補佐は地区会員増強維持部門の委員も兼ねております。今回の「COVID-19」により、経済的にも厳しさを増す状況ではありますが、会員増強、特に維持を意識したいと思います。

地区と各クラブを結ぶパイプ役としてガバナー補佐の任務を遂行しようと思います。

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第5グループ

ガバナー補佐
宮澤 英修
(鴻巣RC)

今年度第5グループのガバナー補佐を拝命いたしました鴻巣ロータリークラブ所属の宮澤英修です。本年度ホルガー・クナークRI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を受け中里ガバナーは地区運営方針を「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活性化を!」を発信いたしました。

この内容を十分理解された上で各クラブの会長さんは今年度の会長方針を考えられたと思います。とにかく今年度は継続事業の徹底的な見直しの年、また新規事業を目指す1年にして頂きたいと思います。

すばらしい継続事業をお持ちのクラブもたくさんあると思いますが奉仕する側・奉仕を受ける側で必ず年を重ねる事にずれが生じて来ます。1年ごとに本当にこれで良かったのかと言う詳細な検証、その上で新たなニーズの掘り起こしをして、初めて生きた奉仕活動が生み出せるのではないのでしょうか。

まだまだコロナの影響で先行きは不透明ですが、会長幹事会を通じ第5グループの皆様が充実したロータリーライフが送れます様一年間努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



第6グループ

ガバナー補佐
菊池 圀光
(庄和RC)

2020～2021年度・第6グループガバナー補佐を拝命致しました、庄和ロータリークラブ所属の菊池圀光です。1年間、宜しくお願い致します。

国際ロータリー・ホルガー・クナーク会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」中里ガバナーの地区運営方針は「新たな機会へのチャレンジでクラブに活力を!」を踏まえて、第6グループでは春日部RC・杉戸RC・春日部西RC・春日部南RC・春日部イニングRC・庄和RCの6クラブの会長・幹事さんをはじめ、会員の皆様にお伝えし、皆様のご意見を中里ガバナーに伝えていきたいと考えております。

各クラブを訪問させて頂き、目標に対する進捗状況や、地区とクラブを円滑に進められるパイプ役として、またグループ内の交流・合同プログラム等の調整役として、各クラブが一層効果的なクラブ・元気なクラブとなる様、ご支援お手伝いが出来ればと考えております。微力ながら、精一杯努めてまいりますので、皆様のご指導ご協力をお願い致します。

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第7グループ

ガバナー補佐
伊藤 敦彦
(幸手RC)

今年度第7グループガバナー補佐を拝命いたしました伊藤です。大変重要な役割を務めさせていただきますが、諸先輩の皆様のご指導を仰ぎながら一年間取り組ませていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年は、日本にロータリークラブが誕生してから100年の年にあたり、この間の歴史は、先人の皆様のご尽力により築かれてまいりました。多種に亘り数多くの奉仕活動や寄付活動は、地域のみならず、国際的な評価を頂いております。また、数多くの学生の育成にも力を注いでまいりました。このような活動を継続できましたのも会員の皆様の努力の成果だと思います。しかし、過去20年間の会員数の増減は徐々に減る傾向にあります。この10年間を見ますと40名の減と減少数は少ない様ですが、毎年新入会員の皆さんが入会して頂いているからこそその数字だと思います。

本年度、中里ガバナーは会員維持及び増強に力を注ぎたいと述べられ、地区運営方針は『新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!』です。活力は会員増強にあり、新たな機会、事業の見直しにあると思います。ガバナー補佐の役割や責務は、クラブや会員の皆様と中里ガバナー及び地区との情報交換がその仕事の全てに繋がるのだと思っております。ロータリー歴はまだ浅い私ですが、皆様のご意見をできる限りお聞きして伝えてまいりたいと思いますので1年間どうぞよろしくお願いいたします。機会の扉を開くのは、あなたです。クラブの皆様と共にこの1年間を楽しみましょう。



第8グループ

ガバナー補佐
山崎 晶弘
(越谷中RC)

夢無き者に成功無し

今年度ガバナー補佐を拝命致しました、越谷中ロータリークラブの山崎晶弘と申します。

国際ロータリーボルガー・クナーク会長の【ロータリーは機会の扉を開く】のテーマに基づき、我が2770地区中里公造ガバナーは【新たな機会へのチャレンジでクラブに活力を!】を活動方針として挙げられました。

中里公造ガバナーは、各クラブがより活力在る活動、これまでの継続事業に固守せず、新たな地域のニーズに即して会員皆が参加できる事業をとの要望を承け…

第8グループとして、

- ①クラブや事業に拠って異なりますが、これまで継続されてきた事業を消化する事に重きが置かれ、少子高齢化の進む地域社会との適合性を鑑みて一度再考し、
- ②今やロータリー永遠の課題と言っても過言ではない会員増強を、これまでとは異なる視点で既存会員高齢等に因る退会防止(健康保持)と、これまでの会員勧誘手法のみに拘らず女性会員をも想定しRI平均20%を目指した増強。

吉田松陰の言葉に【夢無き者に成功無し】とあって、【夢無き者に志無し、志無き者に計画無し、計画無き者に行動無し、行動無き者に成功無し、故に夢無き者に成功無し】とあります!

言うは易し行は難しではありますが、同じ地域で奉仕活動を為す同志(士)の皆さんのご意見やご協力頂き、この一年鋭意邁進する所存です。何卒宜しくお願い致します。

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第9グループ

ガバナー補佐
佐々木 一男
(草加松原RC)

ロータリーの友情と奉仕
時の流れは、早いものでロータリアンの年齢も、少しずつですが下がって来ました。第9グループのロータリアンの皆さんのクラブでも、若い会員の方々が少しずつ増えて来ました。しかしながら最近、人間関係も薄く自己中心的な人材が多く、少し寂しさを感じる日々が多くなりました。私は古い人間ですので特に思うのかもしれません。不安な気がします。もう少し前向きな気持ちと姿勢を持たなければと思います。

しかしながら、私たちロータリアンを更に暗くする事が1月に飛び込んできました。ロータリアンの世界が激震する話です。今この原稿を書いている時ですら、世界の人口の何人が死亡したという話が流れています。120万強のロータリアンが、世界を少しずつ『手に手を取って』友情を深め、この危機を少しでも救いたいと思わなくてはなりません。

出来ることを少しでも奉仕の精神を持って乗り越え、ロータリアンとして恥じることなく、1年を進みたいと思います。

ロータリーも旗のもとで友情と奉仕を捧げて



第10グループ

ガバナー補佐
小島 朗
(松伏RC)

第2770地区・第10グループガバナー補佐として、松伏ロータリークラブよりお世話になります。小島朗でございます。

第2770地区ガバナー・中里公造氏は「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を!」の運営方針で、主なクラブ目標にクラブビジョン・戦略計画策定にチャレンジすること。また、継続事業を見直し新規奉仕事業へのチャレンジすることを挙げています。

ガバナー補佐の役割としては担当クラブの訪問や会長幹事会議を行い、会長幹事・クラブ会員とガバナー・地区との連絡調整の役目を行うこと。また、ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を支援すること。また、会員増強維持部門の一員として退会防止・会員の維持に特化した活動としてアドバイスするよう言われています。あるいはIMの開催等があります。

日本のロータリーが100周年を迎える年に各クラブが新たな扉を開き、活力のあるクラブになるよう、微力ながら御支援させていただきますのでご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

ガバナー補佐 ご挨拶 「この一年の抱負」



第11グループ

ガバナー補佐
村石 政彦
(川口東RC)

2020-21年度、第11グループガバナー補佐を務めます、村石政彦です。昭和32年生まれの63歳です。

ウイルスの感染拡大により、世界中が生命の危機に直面しています。東京オリンピックも延期になり、多くのロータリーイベントも中止になってしまいました。

しかし私たちロータリアンには、世界平和というテーマがあります。今一度、ロータリーをみつめ直し、今だからできる活動、地域は今、何を望んでいるのかを考え、これからはさらに、地域貢献活動に力を注いでいきたいと思います。一日も早く、例会等の活動が再開することを強く望みます。

またこのような状況下では、会員の退会が懸念されます。クラブ内の士気を高める事が退会防止に繋がり、しいては会員増強に繋がることと思います。

私の好きな言葉に「One For All・All For One」意味は、一人はみんなの為に、みんなは一人の為にです。ロータリアン一人一人が手を取り合い、活動をしていきましょう。各クラブが、会長を中心にスクラムを組むことが必要です。そうすれば、どんな困難にも打ち勝つ知恵や活力が生まれてくるのではないのでしょうか。

私たちにとって、今年も良い年になりますように！



第12グループ

ガバナー補佐
小山 重治
(戸田西RC)

2006年12月に戸田西ロータリークラブに入会をさせて頂き、14年目に入りました。入会当初はロータリーの年度の始まりすらも知らずに、毎週の例会に出席をし、少しずつ会員の方と知り合え、そして少しずつ組織や仕組み、ロータリーの活動にも参加しながらロータリアンとして、そう呼ばれるような様々な、そこでしか出来ない経験をさせて頂きました。様々な経験や活動が出来ることもロータリークラブにいるからこそだと思っています。

そんな中でももちろん、初めてでもありますが、12グループのガバナー補佐という役割を経験させていただき依頼を受け、迷いもありましたがロータリアンでいる以上更なる経験を積めると思い、お引き受けをさせて頂きました。

2019～2020年度はこれまでは無かった長期の休会という妨げに遭遇しました。私たち12名の次年度ガバナー補佐は昨年の6月から研修を重ね準備もして参りましたが、思わぬ事で準備の最終段階を締めくることが出来なかった事は残念です。

ただ一つ「初心を忘れず」という気持ちでガバナー補佐としての一年をロータリアンとしてその役目を果たしたいと思っています。

地区幹事 ご挨拶 「この一年の抱負」

2020-21年度 地区幹事 木戸 良樹



「この状況がいつまで続くのか・・・」

この原稿を書き留めているのは緊急事態宣言の真っ只中。PETSも地区研修・協議会もビデオによる一方通行のものとなりました。

皆さんきちんとクナークRI会長や中里ガバナーの意向を受け止めてくれただろうか・・・。

6月末での退会者は桁違いに増えないだろうか・・・。

Webでの例会は果たしてどれくらいのクラブが出来ているのだろうか・・・。

心配事は尽きません。

一年の抱負と言う題材で原稿に向かい合っていますが、このコロナ禍が早く終息することが第一の希望です。

しかし、後ろ向きなことは考えていても仕方がなく、どうしたらこの状況を改善できるかを皆さんと一緒に考え実行に移していきたい。地区幹事の心構えは、「ガバナーの健康管理・2000時間奉仕する・黒子に徹する」の3つです。そのほかに重要なことは、事務方として各行事の取りまとめや案内文書の作成や管理などです。それぞれの役職には必ず求められる役割があり、各個がそれぞれを全うすることによって生き生きとした組織が生まれてくるはず。この状況下の中で、人との接触を避けながらも、個性を生かしながら各個の役割を今一度思い起こしてみてください。

中里ガバナーも色々に対応策を考えています。目玉である公式訪問は、7月からでなく2か月遅らせ9月から2月までの期間とし、それでも不可の場合は止むを得ずWeb方式を採用すること。地区大会は11月に実施できなかった場合を考慮し、5月も会場を仮押さえしています。部門セミナーは、難しいかもしれませんが現状では予定通り行います。IMの日程も各ガバナー補佐に概ね決めてもらいました。その時々状況により柔軟かつ迅速に変化・対応したいと考えています。

クナークRI会長は、RIテーマについて「ロータリアンがリーダーシップを発揮する機会を作り、奉仕の理念を行動に移し、支援を必要としている人々の生活が向上する活動をしていきましょう。」と唱えています。「ロータリーは機会の扉を開く」というRIテーマを実践すべく、先ほどの提唱を頭に入れながら皆さん一緒になって知恵を出し合ひましょう！

退場の扉はありません。

こんな時だからこそ踏ん張ってロータリアンの底力を見せましょう！

会社を潰してはいけません。

そして新しいそれぞれのロータリーの扉を一緒になって開いて行きましょう！

きっと新しい世界が見えるはずです。

【今後の地区会計の方向性について～更なる透明化を目指して】

2020-21年度 地区会計 福園 健

・これまで地区では、2770地区内の各クラブを支援することを目的する一方で、地区自体の効率的な運営を討議検討して参りました。

・主な成果として、地区事務所の固定化による地区費用の削減の効果が、次年度繰越金の累積額として顕在化したことで、地区分担金の大幅な減額を実現するなどの改革を継続的に行ってきました。

・今後は、地区の活動状況を分かりやすく伝えることを目的とした情報開示の枠組みを提示できればと考えています。例えば、複数存在する特別会計や、地区外部(RIや米山記念奨学会など)からの受入金など、一見すると分かり辛いロータリー特有の項目について、一般化された会計の枠組みを用いて、わかりやすい地区会計を目指して参ります。



2020～2021年度 地区大会参加のお願い

2020～2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク会長は、「ロータリーは機会の扉を開く」多角的なテーマを掲げられました。極めて多様性があります。

地区大会(District Convention, District Conference)の主役は、各ロータリークラブ会員一人一人です。参加する事が大きな責務です。

当地区内74ロータリークラブ、会員2540名強、ロータリーファミリー、ロータリー財団奨学生、学友、ロータリー米山奨学生、米山学友、インターアクト、ローターアクト、ライラリアン、修了生、そしてそのホストファミリー、多くの皆さんが、共に機会の扉を開き、同一空間の中で互いに理解をし、利他の「奉仕の理念」を得る事と思います。

私達の第2770地区は、2007年よりDLPを導入、9奉仕部門にて運営されています。各部門過年度に亘り大いなる奉仕活動を率先実行されて来ています。

地区内外より参加される多くのロータリアン・ロータリーファミリーの皆さんと、地区大会の大切さを、新たな出会い・再会・友情の深さを再確認・再認識して下さい。

「機会の扉」を多く開けるチャンスは、私達ロータリアンの確かな行動に与えられた、2020～2021年度の国際ロータリーの素晴らしいテーマです。私達ロータリアン一人一人が、過去・現在・未来の確かなクラブ戦略に基づき行動することです。その大きな行動が、地区大会を最大限に盛り上げる事です。

74クラブのロータリアン、そして各クラブのロータリーファミリーを同行し地区大会を盛り上げましょう！

各クラブ会長・幹事・RI第2770地区内委員には、それぞれの役職に応じたお願いをさせていただきます。

多くの機会の扉を開きましょう！



国際ロータリー 第2770地区

地区大会委員長 田村亮夫(PDG)

地区大会実行委員長 高橋明賢(PAG)

RFG ロータリー・フレンドシップ・ゴルフクラブ

「R(ロータリー)・F(フレンドシップ)・G(ゴルフクラブ)」は2770地区内で活動するゴルフ好きなロータリアンから構成されており、スコアに関係なく親睦重視!広く門戸を開いています。今回は第1回の優勝者でもある浦和RC名古屋誠会員宅にお邪魔しました。

【月信担当(以下:月)】早速ですが凄いお部屋ですね!!エルビス、マイケル…
(記念写真参考)

【名古屋会員(以下:名)】アハハハ(笑)

【月】では、落ち着いてRFGの設立経緯を!

【名】例えば、地区に出向するとクラブを超えたヨコの関係が出来ることもロータリーの醍醐味であると思っています。一方で、出向期間が終ると会う機会も減少し、関係も途絶えがちになってしまいます。そのため、未来に向けた友情と親睦の機会を継続させよう!と十数人でゴルフコンペを始めたのがきっかけです。2012年に開始し、大会は50回を超えています。

【月】知り合いを広めることによって…ロータリーの目的に合っていますね!

【名】ただプレーするだけでは、芸がないので優勝回数に応じて、ブレザーの色に工夫したり、時に特別企画として遠征ツアー(沖縄、グアム、台湾など)も開催しています。

【月】海外ですか?●●な集団ですね!ところでメンバーはどれぐらいですか?

【名】現在メンバーは38名です。地区内の多くのクラブから参加されています。入会資格はもちろんありません。中里ガバナーもメンバーにいますよ。

【月】多くの知り合いが出来そうですね!唐突ですが、ロータリー歴25年の名古屋会員から、若手ロータリアンにメッセージを!

【名】「世間には悪い人はいない」と思い、多くのロータリアンと楽しい親睦の機会を持つことをお勧めします!

【月】騙されたと思ってですね。

【メンバー大募集!】

ゴルフを通じて、クラブを超えた楽しい繋がりを保証します!ご入会希望者は、下記までご連絡をお待ちしております!

浦和RC 名古屋誠会員 電話番号090-3512-5022 FAX048-831-2748まで

【後記】

写真は、名古屋会員のご自宅です。音楽あり、サッカーあり、クルマありと多趣味な名古屋会員にお時間をいただき、楽しいお話を伺えました。

日時:2020年5月29日(金) 場所:名古屋誠会員ご自宅



オンライン疑似例会 開催!!

公共イメージ部門委員会が、5月30日に疑似例会という形でオンライン例会を導入するための勉強会を開催しました。昼の部と夜の部とそれぞれ通常の例会と同じ1時間で行われ、小林操パストガバナー、中里公造ガバナー、井原寛地区研修リーダーや、各クラブの会長エレクトの皆様など50名弱の多くの方に参加をいただきました。

公共イメージ部門委員会の皆様、Zoomの使い方や検証、参加者への使用方法のレクチャーなどの事前準備等、お疲れさまでした。



My Town Sweets

第11グループ内の事務局さんで協議していただき「ドルチェメンテ」さんを推薦をいただきました！

ドルチェメンテ



川口市領家 3-13-11
ウィンベル 1F
TEL 048-229-3456
<http://dolcemente.co.jp/>
営業時間 10:00 ~ 19:00
火曜定休日

川口にあるドルチェメンテは2020年で9年目を迎えるシフォンケーキが有名なお店です。石田社長はホテルや海外での経験もあり、現在は製菓学校で講師も行われています。

では、さっそくインタビューへ参ります。

【月信担当(以下:月)】本日はよろしくお願い致します。早速ですがお店のこだわりと店名の由来を教えてください。

【石田社長 (以下:ド)】店名の由来は、イタリア語で「優しく歌う」です。顔が怖いので。巷ではシフォンケーキが有名ですが、シフォンケーキ屋と言われるのは、ちょっと癪です(笑)。ケーキは生地が命！焼き菓子やショートケーキ、モンブランなどスイーツ店の基本となる商品は自信があります！

【月】失礼ながら店が繁華街にあれば、もっと人気が出るのではないですか？

【ド】独立前にいろいろな店を見て、スイーツ店は、繁盛店と立地には相関関係がないことはわかっていました。そのため、技術や製造機械、ヒトを重視したお店にしています。

【月】なるほど、経営者ですね！ ところでどのようなヒトが伸びますか？

【ド】やはり、強い想いがあるヒトが伸びますね。強い想いが、更なる探求心を生み、結果として、ドルチェメンテの美味しいケーキを生み出します！

【月】なるほど！どの業界でも同じですね。社長を超える想いをもったパティシエが出てくることを祈念しております。最後に石田社長の今後の目標をお聞かせください。

【ド】まだまだ、いっぱい野望はあります！美味しいパンとパスタのカフェや大きな窯を使っのこだわりのピザなど...たくさん美味しいものを多くの人に食べていただきたいです。

【月】是非、頑張ってください。地区内のロータリアンに宣伝します！

【後記】

写真は、石田社長と第11グループ川口RCの事務局の津田さんです。

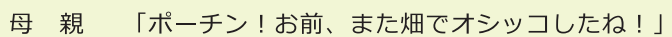
お土産にシフォンケーキと焼き菓子など、自腹で購入し食べましたが絶賛でした。皆様も是非にご賞味ください！



取材日時：2020年5月28日(水)



※予定は変更になる可能性があります。
※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通して地区へご連絡願います。



地区幹事の「ほっと一息」